

事務事業評価表(既存事業)

コード	事務事業名	所管部課					
8-1-3	人にやさしいまちづくり条例制定	都市整備部都市計画課					
事務事業の概要	事務事業の目的 「福祉のまちづくり」「ユニバーサルデザイン」の理念を元に、西東京市のまちづくりの状況を踏まえた「人にやさしいまち」の実現化のため、まちづくりの基本理念・目的を共有し、ハード・ソフトの方策の取り組み、協働のまちづくりのためのしくみづくりについて制度化するものである。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)住みやすい住環境の創造(安1-1) (主要施策)人にやさしいまちづくりの推進					
	実施内容、実施方法 庁内検討会、都市検討会の開催、市民参加手続きの実施等。	根拠法令等 生活福祉空間づくり大綱 東京都福祉のまちづくり条例 (仮称)西東京市人にやさしいまちづくり条例制定市民懇談会設置要綱 (仮称)西東京市人にやさしいまちづくり条例制定庁内検討会議設置要領					
	事業開始時期	平成 15 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()			
評価指標の設定	活動指標名 検討会議等実施回数	活動指標の考え方(定義) 条例制定のために実施した検討会等の回数					
	成果指標名 検討会等で出された意見数	成果指標の考え方(定義) 検討会等で出された意見の数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	82	14	935	
	国庫支出金	千円			0		
	都支出金				7		
	地方債						
	その他						
	一般財源			82	7	935	
	所要人員(B)	人		1	0.3	0.1	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	8,273	2,498	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	8,355	2,513	1,768	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(検討会等で出された意見数)	千円	0	36.48	33.50		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			6	
		実績値	回		14	6	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	個			100		
	実績値	個		229	75		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ハード・ソフトの各面からのまちづくり、推進に向けたしくみづくりが必要であり、条例の骨子を策定している。 意見の集約として市民、事業者、市の役割を明確化し、人にやさしいまちづくりを進めていくうえでの基本的事項を定め、人にやさしいまちづくりを総合的に進めること。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	指導要綱の条例化などいわゆるまちづくり条例関係が多摩地域8市が制定済みである。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	都市計画法33条に基づく委任事項について条例化する場合は、東京と同意協議が必要である。 また本条例の制定には西東京市議会の議決が必要である。					

コード 8-1-3	事務事業名 人にやさしいまちづくり条例制定	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------	--------------------

	項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成15年度は市民を中心に意見を集約して条例の骨子を作成した。平成16年度は条例案に反映させるため、他の制度との連絡調整などの事務的な検討会議を実施した。 当初のスケジュールどおり進まなかったため不十分である。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	当該行政需要に係る変化がないため。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	単位当たりコストが平成15年度より減少していることから判断して、効率性に問題はないと言える。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	限定的でなく広く市民からも意見聴取をしているため、公平性に問題はない。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当初のスケジュールどおり進まなかったが、制定に向かって努力する。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
--------	--	--

<p>評価の視点</p> <p>実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など</p> <p>必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など</p> <p>効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など</p> <p>公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など</p> <p>総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。</p> <p>拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。</p> <p>継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。</p> <p>改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。</p> <p>抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。</p> <p>廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。</p>	
--	--